科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：人文研ゼミ　ことばの歴史・言語学の歴史 ILAS Seminar :History of Languages, History of Linguistics			担当者所属職名・氏名	人文科学研究所 准教授　伊藤　順二		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	受講定員(1回生定員)	12 (12) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	火5	教室	人文科学研究所本館１階セミナー室１ (本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	言語学 / 歴史学 / 認知科学 / 哲学						

[授業の概要・目的]

なぜ我々(多くの現代人)は、殺人事件があったとき「AがBを銃で殺した」「Bが殺された」と言うのでしょう。殺人犯が分からないこともあります。「(Aの発砲で)Bが死んだ」で充分ではないでしょうか。実際にそれに近い言い回しをする言語もあります。問題は、文の上で殺人者に注目するか、死んだ人がいるということのほうに注目するかです。

「情報社会」ということばが使われるよりはるか以前から、言語は人間の社会と文化にとって重要な課題でした。言語の研究は西欧では植民地の拡大、世界観の革新と並行してすすみ、認識論の変化をも促しました。

　今年度は、前半はジョージア語の初歩的文法を紹介します。ジョージアを含むコーカサス地方はおおよそ19世紀前半にロシア領となり、言語学的調査が進みました。印欧語とはきわめて異質なジョージア語やチェチェン語などのコーカサス諸語の研究からは、「内容的類型学」など、弱い言語決定論といえるような思考が生まれています。それらを踏まえて後半は自由に議論を展開していきたいと思います。

[到達目標]

言語の重要性、物事の歴史的あるいは構造的把握の重要性を理解する。
多人数向け報告の基礎的知識と基本技法を習得する。

[授業計画と内容]

１．イントロダクション：日本語でも英語でもなく
２．ジョージア史概説
３．ジョージア語文法学習
４. ジョージア語文法学習
５．ジョージア語文法学習
６．ジョージア語文法学習
７．ジョージア語文法学習
８．ロシア・ソ連の言語学
９．自由報告
10. 自由報告
11. 自由報告
12. 自由報告
13. 自由報告
14. 自由報告

ILASセミナー：人文研ゼミ　ことばの歴史・言語学の歴史(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：人文研ゼミ　ことばの歴史・言語学の歴史(2)

15. フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

一人２回の報告(40ｘ2),および平常点(20)
「平常点」は単なる出席ではなく、授業中の議論への参加度を考慮します。

[教科書]

児島康宏 『ニューエクスプレスプラス　グルジア語』（白水社）ISBN:9784560088333
言語学史等の文献については、適宜紹介・貸与します。

[授業外学修（予習・復習）等]

報告者は授業前に報告を準備する。
他の受講者も事前に教科書等からおおまかな報告内容を予期し、質問等を考えておく。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]